

## 会 議 摘 録

<b>会議名称</b>	御幸公園 <sup>うめかおる</sup> 梅香事業第4回推進会議
<b>日 時</b>	平成28年3月2日（水） 15:30～17:00
<b>会 場</b>	幸区役所4階第2会義室
<b>出席者</b>	<p><b>【委員】</b></p> <p>上野区長（委員長）、道路公園センター 吉濱所長（副委員長）、鏑木委員、金井委員、佐野委員、佐藤委員、神谷委員、深瀬委員、君和田委員、永田委員、水谷委員、</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>道路公園センター 管理課 山口課長補佐、長谷川職員 整備課 佐々木担当課長、飯田係長、山下職員</p>
<b>欠席者</b>	服部委員
<b>傍聴者</b>	2人
<b>配布資料</b>	<p>議事次第</p> <p>資料1 第3回御幸公園梅香事業推進会議 平成27年度梅林視察報告</p> <p>資料2 平成27年度梅林視察アンケートのまとめ</p> <p>資料3 平成28年度御幸公園梅香事業実施計画（案）</p> <p>資料4 御幸公園梅香事業「区内市立学校に関する関連情報」※こども支援室提供</p> <p>資料5 「御幸地区の歴史・文化」講演会（案）※文化財課提供</p> <p>資料6 計画期間の主な取組（案）H27～H36</p> <p>資料7 委員からいただいた意見のまとめ</p> <p>資料8 御幸公園梅香事業推進計画（案）※目次のみ</p> <p>参 考 御幸公園梅香事業第2回推進会議摘録 御幸公園梅香事業実施要綱 御幸公園梅香事業推進会議設置要綱 御幸公園梅香事業推進会議 名簿</p>
<b>議 題</b>	<p>(1) 平成27年度梅林視察の報告</p> <p>(2) 平成28年度御幸公園梅香事業実施計画（案）</p> <p>(3) 次回推進会議の開催について</p>
<b>決定事項</b>	<p>◎平成28年度の事業計画は、概ね、案のとおり了承された。</p> <p>◎「学校との連携事業」における絵画コンクールは、小学校を対象に希望者を募ることとする。</p> <p>◎「御幸地区の歴史・文化」講演会は、案のとおり了承された。</p> <p>◎第5回推進会議の日程は、「平成28年5月25日（水）15:30～」とする。</p>

<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から、株式会社東芝 小向事業所の小林俊夫委員が人事異動となり、後任として永田健二委員に引き継がれることを説明した。</li> </ul> <p>○委員長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度にどういことを検討していくか、どうい事業を行っていくか意見をもらいたい。また、楽しみながら事業を進めていきたい。</li> </ul> <p>2 議題</p> <p>(1)平成27年度梅林視察の報告</p> <p>事務局から、資料1及び資料2により、「平成27年度梅林視察の報告」を行った後、各委員から視察を踏まえた意見及び感想を述べた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料2（1）①梅の本数」について</li> </ul> <p>○御幸公園の植樹範囲はどの程度か。それがわからないと本数を決められない。</p> <p>→植栽間隔にもよるが、150本～200本程度が良いのではないかと考えている。どのエリアに植樹するかも含め、推進会議で検討を行っていく。</p> <p>○公園の規模については大倉山公園程度が適当であり、参考にしたい。</p> <p>○大倉山公園の梅林は本数の割に密集した感じはしなかったなので、同程度が良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料2（1）②梅の種類」について</li> </ul> <p>○実梅・花梅を両方植えたい。</p> <p>→今後、委員に意見をもらって決定していく。</p> <p>○もともとの小向一帯は畑の中の梅林だったというが、今後どのような梅林にしていくかによって種類等が変わっていくと思うので、検討したほうが良い。</p> <p>○遅く咲く種類や紅梅があると華やかになると思う。</p> <p>○梅の実はたくさんできる方が良い。</p> <p>○実を取るためか、花を見るためかなど、考えていく必要がある。</p> <p>○御幸公園の芝生を、どのように管理していくかということも課題ではないか。</p> <p>○大倉山公園は梅以外の楽しみがあったので、御幸公園でも公園全体を考えて梅を植樹していくと良い。</p> <p>○やるからには中途半端でない、しっかりとした梅林にしていきたい。</p>
------------------------------	---

○梅は桜に匹敵するような樹であるため、公園内で梅を主体的に魅せられるよう工夫していけると良い。御幸公園はあまり大きくないので、設備面ではなくソフト面を充実させていくと良い。

○幕山公園と曾我梅林に行ってきた。幕山公園は、斜面地に梅が咲いていて里山の雰囲気があり、夜はライトアップされていた。曾我梅林は、3～4万本の梅があり、梅畑といった印象だった。いろいろな形の梅林があると感じた。

○熱海の梅林に行ってきた。トイレは清潔、かつ、一定程度の数があると良いと思った。今度、大倉山公園にも行ってみたい。

## (2)平成28年度御幸公園梅香事業実施計画（案）

事務局から、資料3、資料4及び資料5について、説明を行った。

○事業の実施は段取りを決めて行っていく必要があるのではないかと。

→計画期間は、市制100周年となる平成36年度までとして検討する。

○資料3のそれぞれの事業項目について、ねらいや目的、対象者が示されていると検討がしやすいのではないかと。

○小学校での絵画コンクールは、カリキュラムに入れる場合、年度当初には依頼してほしい。希望制であれば、1～2か月前の依頼でも可能である。

○用紙の大きさによっても期間は変わるが、はがき程度だと気軽に描けるのではないかと。用紙が大きいと、ある程度期間を設ける必要がある。

○梅の絵はいつ描くのか。現物を見て描けない時期の場合は何を参考にするのか。

→平成28年度の絵画コンクールは、近隣校のみか幸区内全域の小学校を対象とするかなどは未定だが、各小学校には区役所から依頼を行う。依頼内容、展示方法等については事務局で案を作成し、提示する。

○土壌改良を含めた梅1本あたりの費用が約50万円というのは高く感じる。どの程度の範囲を土壌改良するか。また、1本ずつではなくて、広範囲をまとめて施工すればもう少し安くなるのではないかと。

→土壌改良は1本あたり直径約3m、深さ約1m程度で考えている。年度ごとの予算内で施工できる範囲はまとめて行っていく予定であり、そのうちの1本あたりの単価が約50万円ということである。

→多摩川のスーパー堤防の工事予算の関係で、御幸公園の土壌は非常によ

くないため、大幅に土を入れ替える必要がある。市の予算だけではなく、河川財団の助成金も活用していく。

○植樹に関する寄付で、梅自体を移植する場合はいくらぐらいかかるのか。  
→移植にかかる費用は木の大きさにより異なる。梅の老木は移植しても活着が難しいことから、寄付は現金を考えている。

○資料5について、平成28年度には11月～12月にかけて2回の講演会を行っていく予定である。推進計画の策定に向けて受講者にも意見を聞くことができる時期に設定している。  
→平成28年度に行う「御幸地区の歴史・文化」の講演会の内容、時期については、資料5のとおり実施することで委員に了承された。

事務局から、資料6、資料7及び資料8について説明を行った。

○「御幸公園梅香事業推進計画」を、平成28年度の3回の会議を経た上で策定したい。平成29年度の予算要求の際には、素案を提示したいと考えている。

○総合科学高校にポスターの作成を依頼する際に、区民祭のときのようなアニメ風のタッチだと個性が感じられないと思うので、要望をうまく伝えたい。

○ある程度のねらい、目的を、総合科学高校に依頼する際に決めておけば、生徒たちに伝わるのではないかと。

○川崎信用金庫の絵画コンクールや作文コンクールのように、ポスターの採用者に景品を贈呈すると良いのではないかと。

→平成28年度御幸公園梅香事業実施計画（案）については、委員より異論はなかったため、概ね決定とし、詳細については後日検討をする。

### (3) 次回推進会議の開催について

○第5回推進会議は「平成28年5月25日（水）15：30～17：00」に行う。

### 3 その他

・吉濱副委員長より、平成28年2月27日（土）に実施された大倉山公園観梅会の様子の説明を行った。また、御幸公園の梅を使用した自家製梅酒や、大倉山公園の梅を使用し販売されている梅酒の紹介を行った。

以上